

NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年12月15日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2002000023"/> 整理番号 <input type="text" value="10321"/> 担当者 <input type="text" value="齋藤 光史"/>
表 題	<input type="text" value="ガスセンサ素子及びその製造方法"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="生活・文化"/>
適応製品	<input type="text" value="ガスセンサ, 匂いセンサ, 防災システム, 空気環境測定システム, 食品管理システム"/>
目 的	<input type="text" value="有機薄膜を感応膜としたガスセンサ素子において, 従来のガスセンサ素子と比較して応答速度を著しく向上させたガスセンサ素子を提供する。また, 有機感応膜の形成時間を短縮することで, 生産性を著しく向上させたガスセンサ素子の製造方法を提供する。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明者は, 有機薄膜を感応膜としたガスセンサ素子の応答プロセスが
(1)気体状ガスの有機感応膜の表面への吸着プロセス、及び
(2)有機感応膜の内部への拡散プロセスからなり、
特に後者のプロセスが律速となって、応答に時間を要していることを見出し、前者のプロセスのみでも十分な応答量が得られることを見出した。
そこで、本発明では、有機感応膜をラングミュア - プロジェクト法を用いて形成された超薄膜とすることにより、ガスセンサ素子の応答速度を著しく向上させた。また、その累積層を可能な限り少なくすることにより、有機感応膜の形成時間を短縮し、生産性を著しく向上させた。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4 - 8 - 24 日本学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 e-mail:nubic@adm.nihon-u.ac.jp